

中央大学学員会 第34号 49年白門会会報

発行日 平成29年5月13日 (年2回発行)
発行人 山崎 厚 太
発行所 中央大学学員会49年白門会
印刷所 有東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階 サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

49年白門会

(題字・葛西聖司)

年々歳々花相似たり

49年白門会事務局長 益田 耕二



れも上手くいかず、毎年のようにリストプを実施してしまいましたので、総務部長だった私は「首切り役人」などと呼ばれたながら、むなしい努力を続けていました。

桜の季節は憂鬱…

私の机から窓を眺めると、桜花が窓いっぱいには広がり、まるで屏風を広がったようでしたが、その屏風を背にして、副社長と経理部長が必死に仕事をしている姿を今でも鮮明に覚えています。それは鬼気迫る光景でしたから、これがトラウマになって、その後しばらくは桜が咲くと憂鬱な気分を催すようになった。

この状況が数年続きましたが、2002年3月に会社は地裁に民事再生手続開始を申し立て、とうとう倒産してしまいました。

民事再生手続開始の当日は、経営陣が記者会見を開き、倒産の事実を発表しましたが、その直後から事務所には株主、債権者や労働組合から電話がどんどん入って来て、てんやわんやの大騒ぎとなりました。

会社は株式を公開していましたが、個人株主や、従業員持ち株会を通して大量に株式を保有している従業員の親御さんから、やるせない思いをぶつけられ平身低頭お話を伺ってお詫びするしかありませんでした。

それからは、毎日債権者や労働組合との交渉や、裁判所に提出する資料作りに追われる怒涛の日々が過ぎ、幸いにも、11月には会社の再生計画が裁判所の認可を得て、会社が存続できることになりました。

しかし、そのために株券は只の紙切れになり、債権者の債権は9割以上カットされ、度重なるリストプで絞り切った人員を更に半分減らし、

多くの従業員が会社を去りました。

会社が本業に経営資源を集中し、落ち着きを取り戻した2003年5月に私は脱サラして社会保険労務士事務所を開業することを決意し、惜しまれながら(笑)会社を去りました。会社を辞めてみると、積年の苦勞が心の中に湧き上がってきて、心身ともに不調をきたしてしまいました。そんなときにゼミ仲間の木村眞君に誘われて、我が49年白門会に顔を出してみることになりました。

こんな私の長年の疲れを癒してくれたのは、大学在学中は全然知らなかった同期の仲間たちでした。人生の後半に充実した楽しい時間が持てるのは49年白門会のお蔭だと感謝しております。

今は社会保険労務士事務所を経営していますので、個人経営の利点を生かして、私の事務所を名義上の事務局として使っていたらいておりませんが、昨年から事務局長を拝命しました。宜しくお願ひ申し上げます。

職場のあった裏の公園の桜並木は今年も満開でした。

友へのメッセージ

第二の学生生活を卒業して

藤本 真也 (法) 千葉県 習志野市

平成29年3月24日、日本武道館で法政大学の卒業式(学位授与式)が行われ、午後には近くのホテルメトロポリタンエドモントで通信教育部の卒業祝賀会が開かれた。友人たちと祝杯を重ね、恩師から祝辞を受けながら、至福の通教学生時代をしみじみと思い返していた。

歴史が大好きだったが、仕事に追われ58歳まで歴史小説さえ封印してきた。24歳で館山に司法書士事務所を開業して以来、どんなに高熱が出たり食中毒を起しても一日も病気で休むことなく全力で仕事に打ち込んだ。朝7時には事務所に出て仕事関連の勉強をした。地方に若い司法書士が少なかったせい、開業準備をしている間にも依頼者が並んでしまっほど最初から大盛況で、すぐに4人の事務員を採用し、4年目には

税務署の高額所得番付に載るほど多忙すぎて全く休みもとれず疲れ果て、30歳の時友人に事務所を譲り、不動産鑑定士の二次試験に合格したことをきっかけに銀座の不動産鑑定事務所へ転職した。

31歳の時でこから独立し、友人の

不動産鑑定士と二人で船橋市に司法書士兼不動産鑑定事務所を開業した。この事務所も3年目には館山のピーク時の二倍以上の仕事量になり、休みが全く取れない状況が続いた。事務所も手狭になり友人と別れ、隣ビルに移転した。

若い司法書士を順次採用し、50歳の時、法改正により法人化が認められるようになってすぐに法人化した。体制が整い、時間的に多少の余裕ができたが、両親の介護のため館山の実家から一番電車で船橋まで通勤する生活を3か月続けた後、老人ホームに入った両親に会いに、毎週末に鴨川に通う日々が3年続いた。



53歳の時父が、56歳の時母が亡くなり、自分の時間が取れるようになった。両親は衰えても、私を心配して会うたびに、一日も早く仕事をやめ自分のやりたいことを思いっきりやるように何度も繰り返し言った。

58歳の時満を持して、司法書士法人の代表を若手に譲り、時間を作っ

て法政大学通信教育部文学部史学科に学士入学した。それから6年半、大好きな歴史の勉強をしてやっと卒業にたどり着いたのである。そもそも卒業すること自体は目的ではなく、歴史仲間と楽しい時間を過ごすために入学したので、卒業してしまふのはとても寂しい一面もある。

皆さんは、食べるための勉強でなく、やりたい勉強を悔いなくやってきましたか。もし、やり残していたら、今からでも遅くないので、是非大学の通信教育部で勉強することを考えてみてください。自分のペースで勉強できる。思いっきり大好きな勉強ができるのは本当に楽しい。しかも仲間にはリアルタイムでサポートしてくれる。法政大学の場合、資料を申し込みばすぐに送ってくれる。授業料は年間8万円+α、ちょっと旅行に行けばすべて出費してしまう金額である。

健康であれば、65歳から75歳の10年間は、人生で最高の10年間だ。自分のやりたいことが自由にできる。私はこれから歴史仲間と史跡めぐりや歴史街道歩き、全国ローカル線乗車、歴史を訪ねて歩き旅三昧の至福の時間を過ごしたいと思っている。

健康であれば、65歳から75歳の10年間は、人生で最高の10年間だ。自分のやりたいことが自由にできる。私はこれから歴史仲間と史跡めぐりや歴史街道歩き、全国ローカル線乗車、歴史を訪ねて歩き旅三昧の至福の時間を過ごしたいと思っている。

活動報告

日銀貨幣博物館 2016年 11月26日(土) 見学・忘年会

銀杏の落ち葉舞う晩秋の土曜日、21人の会員が日本橋本石町に集まりました。この地は江戸時代、「金座」があった場所で幕末まで金貨がつくられていた場所です。11時に日銀貨幣博物館の正面玄関を入り、1Fホールで館内の説明を受け、早速展示室のある2Fへと階段を上りました。

展示室は大きく分けて常設展示コーナーと企画展示コーナーがあり、人気があったのは、日本の古代から現代までの貨幣が展示説明されているコーナーでした。和同開珎、渡来銭など77百枚入った壺も展示されていました。また、「お札に特殊な光を当てた場合どうなるか」とか、顕微鏡で拡大したお札を観察するといった体験コーナーもあり、楽しめることができました。

約1時間の貨幣博物館見学後に20人が地下鉄三越前駅から新宿御苑前駅へ。行く先は本日の忘年会会場である同期の高橋カメラマンのPACCOスタジオです。

駅から徒歩3、4分のPACCOスタジオは、20名の席がセットされています。前日から高橋さんが準備されていたおでんの他に博多水炊き、天かす入り豆天お好み焼き、餃子、焼きそば等、美味しい料理に舌鼓を打ちました。60代半ばにしてはよ



く食うは、よく飲むは、よく喋るはと大いに盛り上がりました。高橋さんのスタジオということもあり、時間を気にすることもなく、なんと4時間半に及ぶ忘年会となりました。

(事業部 千葉 幸嗣)

新年会

2017年 1月28日(土)

49年白開会の新年会がお茶の水にある中央大学駿河台記念館1階の「レストランプリオール」で開催されました。

定刻の12時に、千葉事業部長の司会で会が進められ、山崎会長から「昨年先輩達が卒業60周年の打ち合せをやっていました。彼らから比べると我々の年代はまだまだ若い、皆さん元気で」との挨拶がありました。乾杯の音頭は大竹副会長、「今年は酉年、さんすいを付けると酒、九十を付けるると酔っ、酒を酔っばらって千鳥足にならないように」というシャレた挨拶で乾杯。

参加者は56名。女性は5名で、大阪、名古屋、新潟からの参加者も大阪から参加の女性を含めて5名の方が初めて参加されました。

今年は、ノンアルコールの食事と催し物の同好会「デイライトの会」ができ、女性幹事の井さんから内容や予定等の説明がありました。「将棋の会」の黒澤さんからは「これからは囲碁も加える」との報告、高木さんから「ゴルフ会」のスケジュールの話、「会員増強委員長」の中島さんからは旅行を兼ねた地方支部との交流等の発表がありました。

恒例のくじ引き大会では、千葉県名産の落花生、銚子電鉄濡れせんべい、落花生詰め合わせと、千葉県市原市在住の田中正道さんより純米酒「市原のしずく」5本が景品として提供され、20名近い方にプレゼントされました。



お開きが近くなるころ恒例の「中

大節」。落研出身の石川さんと根本さんのリードと元気なかけ声で前の人の上に手を置いて全員で会場を練り歩きました。

校歌と応援歌を歌った後に、副会長の山崎司平さんが万歳三唱で締め、あつという間に楽しい2時間が過ぎていきました。(広報部 柴田 明)

デイライトの会 2017年 3月8日(水)

第1回デイライトの会が3月8日(水)、15人が参加して母校周辺を会場に開催されました。

御茶ノ水駅に集合した一行、まずは歩いて10分ぐらいの神保町にあるランチオンへと向かいます。ランチオンは明治42年創業の老舗洋食店。学生時代は学食を利用して身にとっては高嶺の花。利用された方はほとんどいなかったのではないのでしょうか。現在は肉と魚の盛り合わせ日替わりランチが千円で楽しめるなど、オシャレな洋食屋としてはリーズナブルな値段になっています。

女性3人が参加されたランチは会話が弾みました。ビアレストランとしても有名で、ランチ時にはランチビールを飲む人が大勢います。この会はノンアルコールですので食後は暖かい緑茶を飲みました。

腹ごしらえを済ませて周辺の散策へ。最初は母校跡地に立つビル屋上にある庭園へ向かいます。そこは都会のオアシス。緑の樹々、足もとには可憐なクリスマスローズの花が咲いています。かつて母校がここに



あつたことが懐かしく思い出されました。

次は近くのニコライ堂へ足を運びます。通学路にありながら構内に足を踏み入れた方は、あまりいなかったと思います。内部のステンドグラスやアイコンの美しさに魅せられました。最後は駿河台記念館内の喫茶店で歓談、4時過ぎにはお開きとなり、明るいうちには帰宅できました。

8月初旬 品川プリンスホテルでランチ

11月中旬 ホテルプラッサム新宿でランチ

2018年3月初旬 江戸東京博物館 館見学とちゃんこ

皆様の参加をお待ちしています。
(井 美知子・宮川 保)

支部会報 コンテストで 優秀賞!!

学会会主催の支部会報コンテストにて、当会の「会報(第33号)」が優秀賞に選ばれました。これらも会員の皆様に寄稿いただいたお陰です。広報部一同感謝申し上げます。今後とも、協力宜しくお願いします。

らくがき 楽苦我喜

古木進一(理工)
神奈川県 相模原市

海外出張での思い出

昨年のホームカミングデーで49回会場の存在を知り入会させて頂きました。入会後に初めて皆様とお会いしたのですが、同学年卒業という共通点からか、これまで参加させて頂いた集いでは、毎回親しみと懐かしさを感じました。投稿依頼をお受けしたのをきっかけに、1年前に退職した会社での43年間を振り返ってみました。

就職後の初めての3年間は、国内の石油精製会社や化学会社向けの受電変電配電プラントの取り纏めを担当しました。その後の40年間は、半導体素子を用いた大容量電力変換プラントの設計から運転開始までが業務でした。220kV迄の超高压交流電源から最大で直流1500V、400kVAまでの電力を得る設備で、非鉄金属の精錬や各種の化学電気分解に供するものです。主に海外のアルミ精錬用電源プラントを数多く担当、25カ国へ行き国際線フライトは250回を超えました。

そんな海外生活での思い出を紹介します。同様な経験や印象をお持ちの方もおられるのでは? ●39年前のソウル:物騒な国でした。夜間外出禁止令があり時間外歩行すれば逮捕。●30年前の北京:宿泊した最高級ホテルの北京飯店では就寝時のベッド横をゴキブリが歩き、朝は数えきれない数の自転車の騒音で起こされ。●27年前のケベックの田舎(カナダ):英語が通じずフランス語での会話のみ。レストランでの注文に奮闘。●25年前のヨハネスブルグ(南ア):土曜日の午後2時、6車線道路脇で7人の黒人にナイフで襲われるも殺さず済みました。42歳の本厄年でした。●23年前のマップト(モザンビーク):極貧国。都市部の金持ちのみ電気のある生活。日本に生まれた自分に安堵。●6年前のマナマ(バーレーン):宗派対立で毎日の様に若者達がタイヤを燃やし道路を封鎖する物騒な国。色々を経験しましたが、日本の一技術者として、相手国の役に立てたと自負しています。

2017年の 総会・懇親会は すごいぞ!!

「49年白門会」の2017年総会が例年より1か月早い6月10日に開かれます。懇親会はランチタイムです。皆様の参加をお待ちしております。

総会後の2つの楽しみは「防犯寸劇」と「あじ自慢のお土産」です。



宮崎県産を
プレゼント!!

編集 後記

初老の センチメンタル ジャーニー

大学に入学する前の春休み。今から47年前、僕はパスポートを取得して沖縄に旅をした。それも実家のある徳島県鳴門市から鹿児島までをヒッチハイクするという無謀な行程。沖縄に着いてもバスで寝たり、地元の人に泊めてもらったりの貧乏旅行。旅のきっかけは、小山内宏の「沖縄」という本を読んで、沖縄の悲劇を自分の目で確かめたかったからだ。

現地では嘉手納基地やコザ周辺をカメラとテープレコーダーを担いで歩き廻った。地元の人たちの反応はまちまちだった。基地で働く労働者、バーの女給、騒音に悩む農夫。本からイメージした「沖縄の悲劇」はいつの間にか薄れ、「ひめゆりの塔」へ行ったりといつの間にか観光旅行となっていた。旅も終わりに近くなったある日、伊江島に渡った。島

2月に沖縄を旅行した。春は様々な思い出を作ってくれる。(高橋和幸)

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

事業部掲示板

2017年の行事予定です。時間や集合場所等詳細は未定です。実施が決まりましたらホームページや

懇親会・1時〜3時 孔雀の間
会費は8千円です。

（東京都千代田区稲田谿路2-1-9）

●**鶏炭火焼**
地鶏肉を炭火で焼き上げました。ビールのおつまみには最高

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●**冷や汁**
宮崎の郷土料理「冷や汁」。アツアツのご飯にかけて至福の一杯!

●**どんこ椎茸**
木の栄養と山水で成長した自然食品です。煮物はもちろん、天ぷらなど

●2017年度会費納入のお願い

49年白門会は皆様の会費によって運営されております。2017年度の会費を6月30日までに納めてくださるようお願いいたします。ある年度の納入を失念されていらっしゃる方も、今年度分から会費を納入していただけますと助かります。2017年度の会計年度は2017年4月1日～2018年3月31日です。年会費3,000円、入会金1,000円です。納入方法は下のいずれかをお選びください。

①郵便振替 (同封の赤い枠の用紙を使えば手数料は49会が負担します)
振替口座番号 「00180-3-196081」
口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)
銀行名 三菱東京UFJ銀行 調布支店 普通預金「1979382」
口座名 49年白門会 渡邊秀和
(ヨンジウキョウネンハクモンカイ ワタナベ ヒデカス)

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。
49年白門会事務局長 益田 耕二
105-0013 東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階
サザンフラックス労務室
Tel 03-5401-7545 Fax 03-5401-0898

※ メールアドレスの登録・変更は
hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「時間の過ぎし方」というテーマで原稿を募集します。65歳を過ぎて時間を持て余している方、まだまだ忙しい方、こんなはずではなかった方等いろいろいらっしゃると思います。皆さんの時間の過ごし方を教えてください。500字前後で事務局まで送ってください。締め切りは10月末日です。広報部からメールで依頼することも有りますのでその際はご協力お願いいたします。